

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2010.10.1

No.75



九月下旬に家族で高松集会に訪問してきました。「学び・交わり会」(聖書の学び会とクリスチャンたちの交流を兼ねたもの)の学び手として招かれたのですが、今回は家族全員で招待されたのです。

高松集会は、全員でも兄弟姉妹(クリスチャン同士はこう呼び合います)が七人という小さな教会です。三人ずつの子どもを持つ二組の夫婦とご年配の兄弟姉妹が一人ずつ、そして徳島大学に通っている大学生一人で、毎週十三人が集まっています。

まずは集会所に行つて顔合わせ。これまで大阪で行われたクリスチャンの集まりで会つてはいたのですが、ゆつくりお話しするのは初めてです。十二月にコルシヤルームでお邪魔するので、会場の下見も兼ねています。集会所を出て、最初に行つたのは、「ご存じ」讃岐うどんのお店です。「ぶっかけうどん」と言えば「セルフで立ち食い」がほとんどですが、ここは全く違います。昔、庄屋として使われていた家屋を改造し、主に観光客をターゲットにしているうどん屋でした。いきなり、太くて、腰があつて、おいしいうどんを見て、食べて圧巻。密かにとても楽しみにしていた我が家のメンバーはみな満足していました。

それから宿泊場所となる施設に向かいました。瀬戸内海に沿った半島の先にある町立の施設でした。目の前には小豆島が見えます。小説「二十四の瞳」

高松集会へ家族で訪問

の舞台になった島です。

二日間で三回の聖書の学びをしました。テーマは「従順」。道徳を教えるのではなく、私たちの模範である主イエスについて考えました。聖書は万物の創造者で大いなる知恵・権勢をもたれた神について語っていますが、その存在のこゝとを一番言いたいわけではありません。私たちはをはるかに超えた偉大な方がおられるということとを認める人は案外いるでしょう。しかし聖書が語っているのは、その創造主がかつて人の姿をとつてこの地上を歩まれたという突拍子もないことです。それも、私たちを愛して、私たちの罪を赦すために、十字架にかけられたと言います。それは私たちが受けるはずであった刑罰を身代わりに受けてくださったというのです。

「キリストは、神の御姿であられる方なのに、…ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。」

(ピリピ二章六〜八節)

この方が普通の人とは違っていたことが、三日目に死から復活したことによつても実証

されました。奇想天外に聞こえるこのようなことは、最初から信じられてきたわけではありません。しかし、二千年間途絶えることなく、クリスチャンの群れ(「教会」、私たちは「集会」と呼んでいます)は起こり、維持され続けました。確かに、宗教戦争といった醜い部分があつたことも事実でしょう。しかし、それは名ばかりのクリスチャンたちが引き起こした蛮行と言えます。聖書にそつて忠実に歩もうとしたクリスチャンたちは、逆に名ばかりの偽信者に迫害されたのです。

私たちが属している東住吉集会は兄弟姉妹が一〇〇名を超える比較的大きな教会です。(と言うのも日本でももっと大きい教会がありますし、米国や韓国では一万人の教会というのもあります。)それに比べると高松集会は、小さな小さな集会(「教会」と言えるでしょう。でも規模が問題ではありません。大切なのは兄弟姉妹一人ひとりが神を愛し、聖書に則り、互いに愛し合いながら集っているか、です。一人にかかる責任が大きいだけに個人の信仰はしっかりしていると云えるでしょう。

一番上が六歳、一番下が生後二カ月の六人の子どもたちと触れ合い、遊びながら、私の子どもたちも楽しい時を過ごしました。また、急遽結成されたN家による音楽発表などもありました。別れを惜しみつつ、一泊二日があつと言う間に過ぎました。再会が楽しみです。



「第六〇回記念玄遠社書展」に作品を出すのは今年で三回目です。「柳緑花紅」と全て漢字の作品を書くのは初めてでした。今年こそ賞を取りたい、そう願っていたある日のこと書道の先生が、私が賞を取ることができたと報告して下さいました。ことばでは表せないほど嬉しかったです。賞の名前は「毎日新聞社賞」と言います。一年前、同じ教室に通っている男の子が取った賞で、私も取ってみたい!とずっと思っていました。

来年は高校生になるので「学生の部」から「一般の部」に変わります。そうなる、賞を取ることもますます難しくなっていくと思います。しかし今回賞を頂いたことで、ますますやる気が出てきて、そのことを忘れずにもっともっと練習していきたいと思っと思っています。

今、練習している字は「知識求む」です。この作品はホームスクーラー主催の「みことば習字コンクール」にも出品したいと思っています。心を込めて一字一字書いていきたいと思っっています。



第60回記念 玄遠社書展表彰式・懇親会



うどん屋さんです。子どもたちもたくさん食べるのでびっくり!

E のマジックコーナー。久しぶりに観客の前で披露。やりがいがあります!



九月
こんなことしました! 行事報告

二日 合同公文教室

(京都府立青少年海洋センター)

十一日 老健施設「くれない」へ

日曜学校より慰問

十四日 塗り絵・工作教室「水彩絵の具で描こう①」

十六日 玄遠社書展(大阪市立美術館)

十八日 I姉妹・Kさん来訪

十八〜二十日 ユースセミナー

(大阪国際ユースホテル)

二十五〜二十六日 高松集會学び・交わり会

(グリーンヒル大串)

二十八日 お作法教室「茶道」

おいしかったうどん

高松集會に、家族七人で行かせていただきました。車をNさんに借りて三時間くらいで、明石海峡大橋淡路島 大鳴門橋 高松 大串という順番で行きました。着いたらすぐにうどん屋に連れて行ってもらいました。長いめんがびっくりしました。

「グリーンヒル大串」という宿泊施設で一泊二日の学び交わり会をしました。部屋の窓から小豆島が見えて、景色のいい所でした。また、宿泊施設の前には大きな芝生があって、高松集會の零歳から六歳までの子供たちとN家の五人が加わってサッカーなどしていっぱい遊べました。

温泉も、外が見えてとても気持ち良かったです。二日目の昼ご飯は、さぬきワイン工場の横のレストランで食べさせていただきました。デザートは、ぶどうアイスもおいしかったです。ある人たちはワイングラスにぶどうジュースを入れて、わいわいと楽しそうにしています。

最後のプログラムは、ミニコンサートをしました。那須家のみんなで楽器(キーボード・メロディオン・リコーダー)を演奏しました。私は、メロディオンをお兄ちゃんと弾きました。車中も歌を歌ったりおしゃべりをしたりしてあっという間に時間がたちました。

編集後記

残暑と言えないほど暑さ!下旬に入ってようやく秋の気配が...いよいよ、読書の秋・勉強の秋・食欲の秋です!